

社会資本整備審議会 道路分科会 第26回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日時 令和3年2月16日(火) 10時00分～12時00分
2. 場所 札幌第1合同庁舎 10階1, 2号会議室
(札幌市北区北8条西2丁目)

3. 出席者

[委員長]

高橋 清 北見工業大学 教授

[委員]

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

岸 邦宏 北海道大学大学院 准教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議 事

○計画段階評価について 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別 第3回目

【委員からの主な意見】

- ・医療体制の確保のためには、患者の移動の速達性のみならず、出張医等の医療従事者の移動の速達性という観点も重要。
- ・当該道路の沿線の地域住民とその他観光客の両方の視点を踏まえたアンケート調査が適切になされている。
- ・ネットワーク全体として考えることが重要であり、長い延長での計画段階評価区間とすべき。
- ・オホーツク圏は低気圧が数日間滞留しやすく、災害が長期化する傾向が高いため、災害時も安全・安定して走行できる道路を整備することが重要。
- ・医療機関を含めた重要施設へのアクセス性向上のため、インターチェンジ設置位置を案 のルート帯の中で遠軽町の中心部に近づけることが重要。
- ・インターチェンジから観光地への案内・情報提供等、道路整備後の利活用・運用面の検討も重要。

【委員長による総括】

- ・対応方針(案)については【案 】別線整備ルートで了承。